

希望と安心の日本を

日本共産党の参議院議員選挙公約

市民と野党の共闘の勝利、日本共産党の躍進で、希望と安心の政治を

4、異常な米軍基地の特権をただし、対等・平等・友好の日米関係をめざします

1、消費税増税の中止、くらしに希望を—三つの提案

①8時間働けばふつうにくらせる社会に—賃上げと長時間労働の是正を

②くらしを支える社会保障を

「減らない年金」にする、低年金を底上げする…安心できる年金に踏み出します

③お金の心配なく、学び、子育てができる社会を

7.5兆円の財政規模—「消費税に頼らない別の道」で財源を確保します

2、「戦争する国」への歯止めなき暴走を止め、憲法を生かした平和外交を

3、原発ゼロの日本、再生可能エネルギーへの大転換を

5、憲法を生かした政治に—生存権、子どもの権利、知る権利を保障します

6、日米FTA交渉の中止—食料主権、経済主権を尊重した平等互恵の経済関係を

7、中小企業と農林水産業の振興で地域経済に希望を

8、災害から国民のいのちとくらしを守ります

9、差別や分断をなくし、誰もが尊厳をもって自分らしく生きられる社会に

「財界中心」「アメリカいなり」という自民党政治の二つのゆがみをたたく立場の日本共産党が伸びてこそ、国民の願い実現の展望が開けます

「くらしに希望を—三つの提案」の概要

1、8時間働けばふつうにくらせる社会を	1.7兆円
最低賃金引き上げ (中小企業の社会保険料軽減)	0.7兆円
介護・保育労働者の月5万円の賃上げ	1兆円
2、くらしを支える社会保障を	2.4兆円
国保料(税)の引き下げ (均等割「平等割」廃止)	1兆円
就学前児童の医療費無料化	0.24兆円
低年金の底上げ	0.7兆円
低所得世帯の介護保険料の軽減	0.14兆円
削られた生活保護を元に戻す	0.26兆円
障害者福祉・医療の無料化	0.05兆円
3、お金の心配なく学び、子育てができる社会を	3.4兆円
大学・専門学校授業料半減など	1.29兆円
70万人に給付奨学金を支給	0.42兆円
すべての奨学金の無利子化	0.04兆円
私立高校授業料の無償化など	0.1兆円
学校給食の無償化	0.45兆円
幼児教育・保育の無償化	0.78兆円
認可保育所大幅増設 (保育所運営費)	0.3兆円
合計	7.5兆円



マスコミの劣化久しい今日、真実を伝え希望を語る赤旗。一紙で間に合う庶民の新聞です。



日本共産党

新しい政治を実現する
かねだ みねお
金田峰生

元県会議員・党国会議員団兵庫事務所長



しんぶん赤旗

お申し込みは黒田みちまで
(090-9987-7909)

金融庁「300万円必要」

老後資金、報告書と別に試算

老後資金として、年金以外に30年間で「2000万円」の蓄えが必要だ」と試算した金融庁の報告書が、世間で大きな反響を呼んでいる。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。」と繰り返している。

老後資金として、年金以外に30年間で「2000万円」の蓄えが必要だ」と試算した金融庁の報告書が、世間で大きな反響を呼んでいる。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。」と繰り返している。

老後資金として、年金以外に30年間で「2000万円」の蓄えが必要だ」と試算した金融庁の報告書が、世間で大きな反響を呼んでいる。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。」と繰り返している。

老後資金として、年金以外に30年間で「2000万円」の蓄えが必要だ」と試算した金融庁の報告書が、世間で大きな反響を呼んでいる。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。同庁は「医療費や介護費」は「別の試算で、4月12日に行われた審議会の日分りまじり。」と繰り返している。

その主張 世界の良識

元公明党副委員長
二見 伸明さん

30年前、天安門事件がありました。私は当時日中友好議員連盟の副会長でした。この事件は人権蹂躞だ、社会主義ではないと真正面から本當のことを勇氣をもって言ったのは日本共産党だけでした。



では議論して時間がかかるけれど、ひとたび決めたことは守る。信用できること。私が小沢自由党の総務委員長をしていたときの話です。それから共産党を見てまいりました。

共産党の九十数年の歴史には弾圧に次ぐ弾圧の時代があった。弾圧されようとも獄に入られようとも共産党はぶれない。いま日本国憲法に最もありがたみを感じているのは共産党だと思えます。戦争反対、表現の自由、基本的人権をこれほど守っている憲法はありません。この憲法を骨の髄から愛し、大事に思っているのは共産党です。

共産党を「暴力革命」「一党独裁」という人がいます。二見さん、あなたは最近共産党を応援しているようにだけ思っています。共産党の暴力革命をどう思うかと聞きました。私は「暴力革命というなら一方、2万の革命軍がいて訓練しなければならぬ。それが無い。共産党の主張とペリー氏の主張は全く同じでした。共産党の常識はアメリカの良心の常識なんだ、世界の常識なんだと思えました。

この選挙を絶望無尽に駆け回って私もがんばります。(15日、大阪市の街頭演説から)

消費税に頼らない財源確保策の概要

1、大企業優遇税制を是正し、中小企業並みの負担を求める	4.0兆円
研究開発減税の廃止	0.67兆円
「賃上げ減税」の振り替え(注)	0.38兆円
その他大企業向け特別措置の縮減	0.3兆円
受取配当益金不算入制度・外国子会社配当益金不算入制度の見直し	2兆円
連結納税制度の廃止	0.66兆円
2、富裕層優遇税制を是正する	3.1兆円
富裕層優遇の証券税制の見直し	1.2兆円
最高税率の引き上げ・控除の見直し	1.9兆円
3、「思いやり」予算などの廃止	0.4兆円
米軍への「思いやり」予算など	0.22兆円
米軍再編経費(辺野古基地など)	0.17兆円
合計	7.5兆円

(注) 賃上げ減税の財源は、最低賃金引き上げのための中小企業の社会保険料軽減の財源に充てる。

財界からも懸念噴出 景気悲観の見方ひろがる

安価な内閣は、10月からの消費税の10%増税をあくまで進行する構えです。ところが、安価内閣に増税を求め続けている財界・大企業の中から、増税への異論や懸念の音が上がっています。

経産省友会長の松田謙信代表幹事は最近の全国会場で、「10月1日に消費税増税を10%引き上げるとは前例(5月1日)と異なっていました。ところが、同会が会員等に実施した6月の調査で増税に反対する声が多く聞かれました。」と述べました。

このアンケート調査で、6年半ぶりに経産省は、断崖絶壁がマナーズに陥りました。経産省の間に景気悲観する見方が広がっていることが、増税のため消費税増税に反対する声が多く聞かれました。」と述べました。